

麻疹（はしか）にご注意ください！

夏休みシーズンにあたり、関西空港では国内外の旅行者が増加し、不特定多数の旅客との接触が増える時期です。

また、夏は麻疹の流行時期でもありますので、改めて麻疹の感染予防、感染拡大防止にご注意ください。

<麻疹の症状について>

- 発熱、咳・鼻汁、皮膚の発疹、結膜の充血、口の中の白い斑点などがあります。
(全ての症状が出現するとは限りません)
- 発熱は、一旦下がっても半日から1日後くらいに再び高熱が出ることがあります。
「麻疹の疑いがある場合」は、再び発熱しないか、発疹が出ていないかを確認して下さい。

<注意事項>

- ★麻疹の疑いがあり、医療機関を受診する際は、必ず事前に電話連絡し、「麻疹の疑いがある」ことを伝え、医療機関の指示に従ってください。
- ★麻疹と診断された場合、主治医の指示する期間は、出勤や外出を控えてください。

<予防について>

- 麻疹を予防するには、ワクチン接種が最も有効な手段です。自身のワクチン定期接種歴（2回）を母子手帳で確認し、接種歴のない方は、早期のワクチン接種をお勧めします。
- 1回のみ接種の方、接種歴不明の方は、かかりつけ医療機関又は産業医にご相談ください。
(定期接種以外でワクチン接種される場合は、自己負担となります。)
ワクチン接種の詳細は、裏面を参照ください。

麻疹（はしか）予防には予防接種が最も有効！

まず

母子手帳の確認を



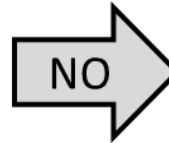
手洗い、マスクのみでは
予防できません！

○麻疹と診断されたことがありますか？

（※検査で確認されていることがのぞましい）

○2回のワクチン接種歴がありますか？

・昭和47年～平成2年生まれの方は定期予防接種は1回のみ
（※0歳で接種したものは1回とカウントしません）



**ワクチン接種を
お勧めします**

麻疹 (はしか) Measles	第1期	MRワクチン	MR HF048A 北里 Exp.15.1.9	26.9.13
風しん Rubella	第2期			

麻疹が疑われた際には、
ワクチンのロット番号、接種年月日をお聞きすることがあります

【参考】発症を防ぐのに十分な血中抗体価

	少なくとも	望ましい
IgG-EIA法	8.0以上	16.0以上
PA法	128倍以上	256倍以上
NT法	4倍以上	8倍以上

造血細胞移植ガイドライン、医療関係者のためのワクチンガイドラインより

Q ワクチンの副反応（副作用）にはどんなものがありますか？

1回目の接種では、発熱(約13%)、発疹(数%)、じんま疹(約3%)などが見られることがあります。
2回目の接種では発熱・発疹の頻度は極めて低いとされています。

Q 麻疹にかかったことがあるか、ワクチンを接種したことがあるか、不明です。
予防接種を受けても大丈夫ですか？

かかったことがある人がワクチン接種をしても副反応は増強しません。
ワクチンの再接種で副反応が強くなるという報告はありません。

Q 妊娠しているのですが、ワクチンを接種できますか？

妊娠している女性はワクチン接種を受けることはできません。
妊娠されていない場合であっても、接種後2カ月程度は避妊が必要です。
ただし、妊娠を知らずにワクチン接種を受けても、中絶を考慮する必要はありません。
(胎児に影響があったという報告例はないとされています)

【出典】厚生労働省、国立感染症研究所、東京都感染症情報センター

ご不明な点があれば、かかりつけ医または職場の産業医にご相談されることをお勧めします。
または、お住まいの住所地を管轄する保健所にご相談ください。

